

## RISTと弊社との歩み

RIST幹事  
オオクマ電子(株) 代表取締役社長  
大隈 恵治



RIST30周年記念、誠におめでとうございます。実は弊社はRIST創立の時から参加している企業だということを、弊社の創業者である父から聞いていました。その関係もあり、RISTと共に共存共栄を目指して今日まで歩んできた次第です。そんな経緯もあり、この度の30周年記念は弊社にとっても非常に感慨深く感じております。心よりお祝い申し上げます。

さて、思い起こせば弊社とRISTとの痕跡で大きいのは、医療事業への参入のきっかけを作ってくれた団体であるということです。今から約15年前、当時のオオクマ電子は創業者である父の大きなビジョンの一つとして「医療業界への参入」がありました。そんな中、RISTにおいて熊本大学の村山先生と出会い、RISTの取組みのキーワードでもある産学連携として脳波計の開発のきっかけを頂くことができ、共同開発に取り組みました。その取組みの中で、当然病院現場の方々や施設現場の方々のご意見などをお聞きする機会なども多く経験することができました。それがきっかけで熊本機能病院様をはじめとする医療業界の方々との交流が増え、この業界における最低限度の知識や経験を蓄積することができたのは、他ならぬRISTというきっかけがあったからに違いありません。この経験をベースに使用して現在弊社が実施しているSPASER事業を立ち上げられたのではと考えています。

SPASERシステムとは、弊社が現在販売している病院経営改善を目的とした製品であり、主に院内の手術室の収益改善に力を発揮します。現在の病院は医療情報管理について電子カルテをはじめとする電子化が進んでおり、その反面、今まで紙運用

してきたものを電子化した故に、現場において様々な問題が発生しています。一番の問題は、今までは紙のやり取りだったので、部署間のやり取りの問題などはその場で見えてその場で解決されていたのに、紙ではなくなった分、何か問題が発生していても、その問題が見えにくくなったことです。そこで、弊社はその問題の中で一番大切な「収益」にフォーカスし、手術室から出てくる「ゴミ」から問題点の見える化をロボットシステムで実現し、加えて現場の方々の作業効率を良くしながら、同時に収益上の無駄を省けるシステムとして、SPASERを販売しています。現在では弊社事業の根幹を支えるまでに成長し、加えてIoTビジネスにまで発展できています。

中小企業が従来の事業ドメインを飛び越えて新しい市場でビジネスをすること、その市場において新しい製品を開発すること、加えてその製品を販売していくとは容易なことではありません。当然知らない市場へ参入していくわけですから、最低限度その市場における知識を身につけるべく、経営者をはじめ関連従業員にも勉強が必要となります。その勉強をしていく基礎をRISTの取組みで培っておけたおかげで、医療業界に参入していただけただけの勉強の定着を図れました。そのスタートが現在の事業を支えています。

RISTの強みは、産学官連携の舞台づくりだと理解しています。それは、単なる共同開発促進だけではなく、弊社みたいに新しい市場へ入るための教育のスタートを切る良いきっかけを産学官連携という機会を使うことで発展できることもあると思います。

今後もRISTの発展と活躍を心より祈念しております。